

5. 今井研卒業40年

橋本 潔 S.39 年卒

今井研を卒業して40年、ほんの昨日の事のような気もするがとてつもなく大昔だったような不思議な気がする。私も63歳となり友人のほとんどは退職している。集まると皆いかに趣味や海外旅行で幸せにすごしているか話す。私もくやしいので畑(写真1)やりコーダー(写真2)の話をして自慢する。しかし世の中を見て改めて振り返ってみると技術屋としてなにを目標にして働いてきたのか、目標設定が間違っていたのではないかと気がめいるこの頃でもある。技術が進めば心のみがく時間も増えるのではないか、テレビや通信が発達すれば恥ずかしくて戦争なんか出来ないのではないかと期待しながら仕事をした時期もあった。結果、裏切られた事がなんと多いことか。オゾン層、環境ホルモン、核廃棄物等々後になって、しまったと思う事柄は枚挙にいとまがない。単なる金儲けのためのテーマを技術屋の好奇心の追求とかで誤魔化し、政治、文化に加わらずにきたことを反省する次第です。と、偉そうな事をいいつつDVDのスパッタ装置に用いられる磁石の特性評価ロボットを調整中の私(写真3)が卑しく見えてしかたがありません。科学の発展の為に多大な力を発揮された皆様方が、今後の人類の本当の発展の為に活躍される事を期待してやみません。



写真 1



写真 2

宇宙観ポスター

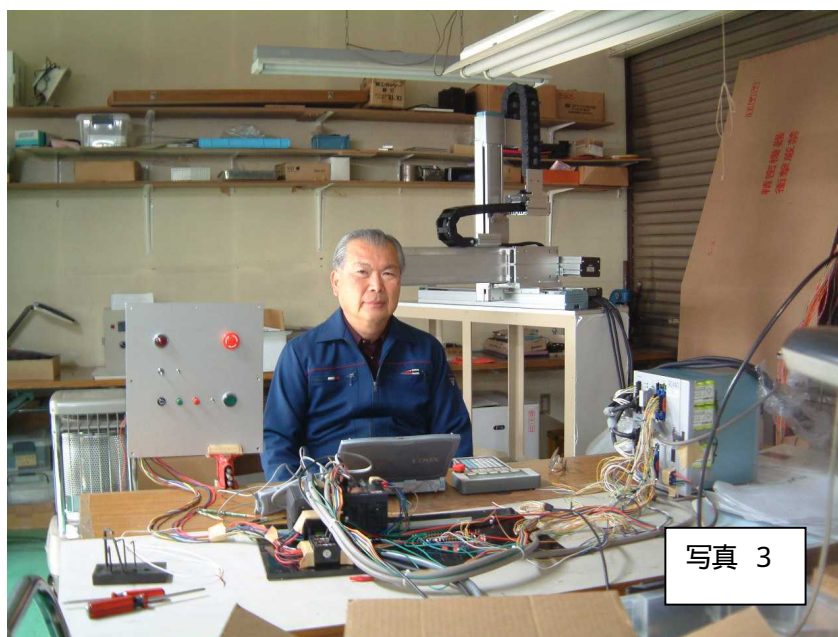
1975年～1985年頃、部品の洗浄にフロンを使用しました。回収装置はありましたが、かなり飛んでいったと思います。1980年代後半になってオゾン層の問題が大きく言われるようになり、愕然となり4億年かけて作られたオゾン層と、人のいとなみ100年のレンジを分かり易く40メートル対0.01ミリで現したものです。人の生き方、環境の話がされるときは宇宙観ポスターをお使いください。学校、集会で配布しています。無料です。

畑

ウコンを栽培しています。ご入用の方連絡してください。お孫さんに土いじりをさせたい方いつでもいらしてください。

リコーダー

「臼井リコーダー アンサンブル」で検索できます。学校、施設でも演奏しています。

**編集後記**

本会報第4号も前号同様10ページとなりました。皆様からの絶大なるご支援があったため、会報作りも順調に運ぶことができました。皆様のご協力にお礼申し上げます。

巻頭には、今井先生から「会報第4号の発行に当たって」と題し、昭和20年代からの今井哲二博士ご自身による研究論文・解説論文など300件近くの学術資料を網羅して『学術論文・著述類リスト』のかたちで纏めた抄録リスト冊子のご紹介文を戴いた。

新幹事 斎藤哲也氏の卒研での心境には新しい感動を覚えますし、その後のご活躍も手に取るように伝わってきます。帯谷達郎氏からの寄稿にはレーザ開発を中心とした誠に充実した、そして創造的に仕事に取り組まれた内容の自分史が語られております。真空管シリーズの第三弾として「私の原点にあるもの その1」：(坪井孝光)を掲載させていただきました。また橋本潔氏の自然とのふれあいは私達の子供の頃を彷彿とさせてくれましたし、趣味の域を越えた演奏活動の写真にも興味をそそられます。

会報は皆様からの投稿を基に編集されます。どんな事でもご遠慮なく気軽に寄稿して下さい。お待ちしております。

会報編集担当： 坪井孝光